



2026 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社富士山マガジンサービス
代表者名 代表取締役会長兼社長 CEO 西野 伸一郎
(コード：3138、東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取締役 CFO 佐藤 鉄平
(irinfo@fujisan.co.jp)

第 2 四半期(中間期)業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年 7 月 31 日に開示した 2026 年 12 月期中間期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）の連結業績予想で公表いたしました 2026 年 12 月期中間連結会計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

1. 2026 年 12 月期中間連結会計期間の業績予想と実績値との差異

(単位：百万円・％)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	3,005	38	38	0	0 円 0 銭
実 績 値 (B)	2,930	30	28	△12	—
増 減 額 (B－A)	△75	△ 8	△10	△12	—
増 減 率 (%)	△2.5%	△21.0%	△26.3%	—	—
(参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 12 月期)	2,861	49	51	20	6 円 32 銭

2. 差異の理由

当中間連結会計年度においては、予想を超える株主優待の対象株主数の増加及び、想定を超える優待使用率となったことから、新たに株主優待の引当金を計上することにしたこと、および、株式会社シーズ・ファクトリーにおいて商品製造の遅延が発生したことに伴う売上減少、株式会社 Fujisan Academia Group において医学部受験コースの生徒数が減少したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益について、利益を 0 百万円と見込んでおりました。しかし、監査の過程において、主に連結子会社である株式会社シーズ・ファクトリー（時計雑誌の販売、自社製造時計の販売等）において、連結処理の過程で修正計上すべき事項が追加で発生したことから、着地において、上記のような結果となり、親会社等株主に帰属する中間純利益について、最終赤字に転落する結果となりました。

なお、2026 年 12 月期連結業績予想につきましては、2026 年 7 月 31 日に開示した連結業績予想を据え置きます。

また、現時点においては、配当方針・配当予想、株主優待制度について変更の予定はありません。

今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上